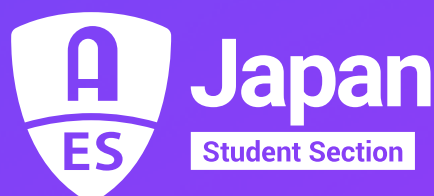

AES日本支部・日本学生支部便り

2026年夏号



【共同発行】

AES日本支部

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993

公式ホームページ <https://aes-japan.org>

AES日本学生支部

公式ホームページ <https://japan.aes-student.org>

支部長挨拶	2
2025年度 AES日本支部 運営委員体制	3
2025年度 事業計画	4
基礎音響セミナー2025のご報告	5
例会の活動について	7
日本学生支部 支部長挨拶	11
日本学生支部の活動について	12

支部長挨拶

AES日本支部 支部長 丸井淳史（東京藝術大学）

2025年があれよあれよという間に過ぎ、2026年も半ばとなりました。昨年度のAES日本支部として外に見えるものとしては、この支部だよりに掲載しているような活動を行いました。

まず、会員の皆様にとって有益な例会を企画・開催し、多くの方にご参加いただくことができました。内容が充実していた一方で、会場のキャパシティが限られているなどでご参加をお断りせざるを得なかったこともあり、心苦しく思うこともしばしばでした。価値の高い体験をより多くの方々にお届けできるように、引き続き方策を考えていきたいと思います。



日本支部による基礎音響セミナーは、高い品質の講義をリーズナブルに提供しており、これまでオーディオ分野で活躍されてきた方の知識のブラッシュアップや、これからオーディオ分野で活躍されようとする方々のための貴重な教育機会になっていると自負しています。変わりゆくオーディオ分野に対応するかたちで講座の見直しや入れ替えも行っています。真夏の熱い短期集中講座として、引き続きご愛顧ください。

さて、日本学生支部主催の「学生・若手フォーラム」にも日本支部として協力し、名古屋芸術大学にて開催することができました。研究内容のポスター発表に加えて複数スタジオでの視聴体験など、企業様に協賛をいただいたことによる後押しもあり、学生支部の皆さんが作り上げた素晴らしいイベントでした。若手が輝く姿を見て、オーディオの未来は明るいと信じられるものになりました。2026年の開催もすでに計画が進められているとのことで、若手を応援する意味でも一般会員の皆様もぜひご参加いただければと思います。

さて、これまでの1年間は基礎体力をつける時間と考え、様々なイベントを行うにあたって支部の体制の調整を行うなど、外からは見えにくいことを中心に行ってきました。その成果が現れてくることを期待しているところです。今後のAES日本支部の活動が、皆様にとってより充実したものとなるよう、さらに尽くしてまいります。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年度 AES日本支部 運営委員体制

	2025年度（2025年9月～2026年8月）	
	2年	1年
支部長		丸井 淳史
副支部長		岡田 詞朗
監事	内村 和嗣	星 和磨
運営担当	菅野 重信	高橋 宏幸
例会担当	染谷 和孝 喜多 真一(新) 井上 聡(新)	長江 和哉 嶋田 美穂
会員担当	中川原 修	三村 将之
会計担当	小谷野 進司	中原 雅考
広報担当	小野 一穂 末次 亮介(新)	中澤 哲矢 土倉 律子
教育担当	伊藤 彰教	星 和磨 重富 千佳子
渉外担当	亀川 徹	河原 一彦
事務局	佐藤 えり沙	見上 陽一郎
アドバイザー	由雄 淳一 西村 明	山崎 淳

2025年度 事業計画

1. 会議

- 定期総会、運営委員会 等

2. 事業

- 例会の開催
 - ・見学会・講演会を主体として、オンラインを含む計8回程度を開催予定
 - ・他団体や外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- AES基礎音響セミナーの開催
- AES日本学生支部主催 AESジャパンフォーラムのサポート

3. 支部体制の充実と効率化

- 支部会員向けのサービスの拡充（担当者の負荷軽減により例会の充実化を目指す）
- 賛助企業向けサービスの拡充（フォーラムやセミナー等）
- 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- 本部会員データベースの活用と、地域／言語別対応の推進の働きかけ
- 入会・会員データベース更新方法などの手続きの案内

以上

基礎音響セミナー2025のご報告

AES日本支部 教育担当 星和磨・渡邊祐子・重富千佳子

2025年8月30日（土）、31日（日）の2日間にわたり、第16回目の「AES基礎音響セミナー」を開催いたしました。今回は前回に引き続き、東京藝術大学 千住キャンパスにおいて対面開催とすることができました。

それぞれの分野において第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師として迎え、基礎的な音響学、電気音響、トランスデューサ、室内音響学、デジタル信号処理、録音基礎など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれました。

今回は2019年以来となるマスタークラスを開講し、業界では近年重要なテーマの一つとなっているAoIP（Audio over Internet Protocol）技術について基礎技術を学び、プロトコルの理解を深める講義を設けました。実際の業務等で利用する中での疑問解消や基礎知識を深める機会とされた参加者の方や、これからAoIP技術を利用するための学びとして参加された方も多く、ご参加の皆様にとって有意義な時間となっていれば幸いです。

参加者数は40名（一般13名、学生5名、賛助企業7社22名）でした。基礎音響セミナーをきっかけに新規入会を希望された参加者や賛助企業があり、AESならびにAES日本支部の活動に関心を寄せていただきました。ご多忙の中講師をお引き受けいただいている講師の皆様、基礎音響セミナー参加者の皆様に感謝申し上げます。

次回の基礎音響セミナーについても開催時期が近づきましたら告知をさせていただく予定です。ぜひ参加をご検討いただき、最新の知見の学習や知識のブラッシュアップにご活用いただければと思います。

<セミナー概要>

（※は記録映像上映）

初級講座

A1. 音の基礎	星和磨（日本大学）
A2. 聴覚と音知覚の基礎	西村明（東京情報大学）※
A3. 電気音響の基礎	田村良隆（イーエーテック）
A4. デジタル信号処理の基礎	渡邊祐子（東京電機大学）

中級講座

B1. 室内音響入門	中原雅考（ソナ/オンフューチャー）
B2. スピーカ入門	小谷野進司（KOYANO Sound Lab.）
B3. マイクホン入門	小野一穂（NHK財団）
B4. ステレオ録音入門	亀川徹（東京藝術大学）
B5. 音の心理評価入門	丸井淳史（東京藝術大学）
B6. 実用デジタルオーディオプロセッシング	鈴木久晴（エヴィクサー）

マスタークラス

AoIP入門IPの基礎とプロトコルの理解 木村貴史（レスター）

井上聡（オンス/東京工科大学）



例会の活動について

AES日本支部 例会担当 染谷 和孝 (株式会社ソナ)

平素より、皆様にはAES日本支部の活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年度も多くの皆様に例会へご参加いただき、音響技術の進歩と業界の発展を目指した活動を進めてまいりました。主な活動内容としては、音響の最新技術や制作分野をテーマに、講演や情報共有に努めてまいりました。

また昨年度は、オンライン配信も取り入れながら、対面形式での開催に注力いたしました。直接的な交流や議論を通じて、より深い学びと新たな発見の場をご提供できたものと感じております。対面形式ならではの臨場感、そして講演者や参加者とのリアルな意見交換については、多くの皆様よりご好評をいただいております。

例会後の懇親会（ソーシャルアワー）においても、参加者同士の交流の時間を大切に、「人をつなぐ」という重要な機会を創出できたと考えております。

例会後のアンケートでも、毎回多くの貴重なご意見をいただいております。これらのご意見は、今後の例会テーマや運営方法の改善に活かしてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜れば幸いです。

今後も、音響技術の動向や業界のトレンドを踏まえ、皆様にとって有意義な学びと交流の場を提供できるよう努めてまいります。AES日本支部例会は、会員の皆様のご支援とご協力によって成り立っております。今後もより良い例会を実現するため、引き続き皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。次回の例会で、また皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

<2025年 実施報告>

	開催日	開催方法	テーマ・講演者	参加者数
1 月 例 会 (1)	1月11日 (土)	対面	Vol.01 John Williams in Tokyo イマーシブミックス制作レポート 深田 晃 氏（株式会社dream window, AES Fellow） 会場1：WOWOW 辰巳放送センター 試写室 会場2：ヒューマックスエンタテインメントHAC新宿 MA-4 会場3：ソナ試聴室	48名
		その他	ソーシャルアワー開催	

1 月 例 会 (2)	1月25日 (土)	対面	Vol.02 NHKテクノロジーズのイマーシブオーディオ制作 N響第9演奏会のMPEG-H 3D Audio配信 寺田 淳 氏（株式会社NHKテクノロジーズ） 野田 麻奈美 氏（株式会社NHKテクノロジーズ） 植草 亮 氏（株式会社NHKテクノロジーズ） 山口 朗史 氏（株式会社NHKテクノロジーズ） 会場：NHKテクノロジーズ 本社 NTラボ、テクノビル、中継車庫	37名
		その他	ソーシャルアワー開催	
2 月 例 会	2月22日 (土)	対面	JAPRS AES共同スタジオ見学会 株式会社ヒューマックスエンタテインメント HAC STUDIO Dolby Atmos Home 「MA-4スタジオリニューアルについて」 嶋田 美穂 氏（株式会社ヒューマックスエンタテインメント） 井上 聡 氏（オンズ株式会社 / 東京工科大学） 重富 千佳子 氏（日本音響エンジニアリング株式会社） 上岡 慎一 氏（株式会社ソナ） 会場：株式会社ヒューマックスエンタテインメント HAC新宿 MA-4	40名
		その他	ソーシャルアワー開催	
6 月 例 会	6月13日 (金)	対面	株式会社WOWOW 新音声車中継車見学会 戸田 佳宏 氏（株式会社WOWOW コンテンツ技術ユニット） 佐竹 康 氏（日本音響エンジニアリング株式会社） 会場：WOWOW 辰巳放送センター 試写室+駐車場	43名
		その他	ソーシャルアワー開催	
8 月 例 会	8月1日 (金)	Zoomミ ーティ ング	ネットワークサウンド基礎知識 AoIP Part 1 木村 貴史 氏（株式会社レスター）	63名
9 月 例 会 (1)	9月5日 (金)	Zoomミ ーティ ング	Vol.01 ネットワークサウンド基礎知識 AoIP Part 2 木村 貴史 氏（株式会社レスター）	52名

9 月 例 会 (2)	9月20日 (土)	対面	Vol.02 Dolby Atmos Musicの制作について 森元 浩二 氏 (prime sound studio form) 峯岸 良行 氏 (prime sound studio form) 加納 洋一郎 氏 (株式会社サウンド・シティ) 会場1：WOWOW 辰巳放送センター 試写室 会場2：日本工学院専門学校ミュージックカレッジ 音響芸術科レコーディングスタジオ、Neumann イマーシブ・デモルーム	40名
		その他	ソーシャルアワー開催	
		協力	株式会社WOWOW、日本工学院専門学校、 ゼンハイザージャパン株式会社、ドルビージャパン株式会社	
10 月 例 会	10月17日 (金)	Zoomミ ーティ ング	オーディオプロフェッショナルとの対談 安達 万純 氏 (ヤマハ株式会社 電子楽器開発) 岩本 双葉 氏 (株式会社トラストネットワーク 長野朝日放送常駐 音声担当) 小泉 慶次郎 氏 (株式会社 永田音響設計) 永田 悠 氏 (ハーマンインターナショナル アコースティックエレクトロニクスエンジニアリング エンジニア) (司会) 佐藤 匡介 氏 (東京藝術大学大学院 AES日本学生支部 支部長) 日比 奏妙 氏 (名古屋芸術大学 AES日本学生支部) 長江 和哉 氏 (名古屋芸術大学 AES日本支部例会担当)	47名



2025年1月Vol.01例会



2025年01月 Vol.02例会



2025年1月Vol.01例会



2025年06月 AES+JAPRS共同勉強会



2025年8月例会



2025年9月例会 Vol.01



2025年9月例会 Vol.02

日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 佐藤 匡介（東京藝術大学）

昨年度よりAES日本学生支部の支部長を務めております、東京藝術大学の佐藤匡介です。

AES日本学生支部は、音について学ぶ学生の交流と学びの促進を目的として2007年に発足し、今年で20年目を迎えました。これまで支部の活動に賛同しご支援いただきました日本支部会員ならびに賛助会員企業の皆様、支部を育ててくださった先輩方に、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で大幅に縮小傾向となっていた支部の活動も次第に活気を取り戻しつつあります。現在の運営委員に以前の雰囲気を知る学生会員はいませんが、新体制のもと学生同士で知恵を出し合いながら企画運営を行っております。昨年度の「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」では6年ぶりとなる企業枠復活に漕ぎ着け、ヤマハ株式会社様ご協賛のもと、業界セミナーを開催いたしました。学生参加者はもとより一般参加者の方々からも好評の声が聞かれ、確かな手応えを感じました。今後も内容の充実を図り、参加者の皆様の活発な交流の場となるよう、魅力あるイベント運営に努めてまいります。

支部の認知度向上のため広報活動にも取り組んでおり、昨年度は AES Convention や国内の学会等で活動PRを行いました。各種SNSやWEBサイトでの迅速な情報発信にも力を入れております。WEBサイトにはイベント毎のレポートを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

今後ともAES日本学生支部の活動にご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



<https://japan.aes-student.org/>

日本学生支部の活動について

AES日本学生支部 副支部長 藤村勇里（東京工科大学）

昨年度の学生支部は、東京藝術大学、名古屋芸術大学、東京工科大学、洗足学園音楽大学に所属する学生運営メンバーを中心に活動してまいりました。学生支部の主な活動は、日本オーディオ協会様主催「OTOTEN2025」への出展（6月）、日本支部との共同例会（10月）、「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2025」の開催（11月）の3件となります。

《OTOTEN2025》

前年に続き、日本オーディオ協会様のお声がけのもと、学生支部としてOTOTEN2025に出展させていただきました。学生による7.1.4ch立体音響作品の発表を通じ、近年の学生制作の動向を対外的にお届けする場となりました。

ご来場の皆様から直接ご意見やご感想を頂き、学生一人ひとりにとって今後の制作活動に繋がる貴重な経験となりました。あわせて、AES学生支部の活動をご紹介しますとともに、AESという団体そのものを知っていただく機会にもなりました。

このような場にお招きくださった日本オーディオ協会様、ご支援を賜りましたシンタックスジャパン様、ジェネレックジャパン様、コルグ様、そしてご来場くださった皆様に、心より感謝申し上げます。



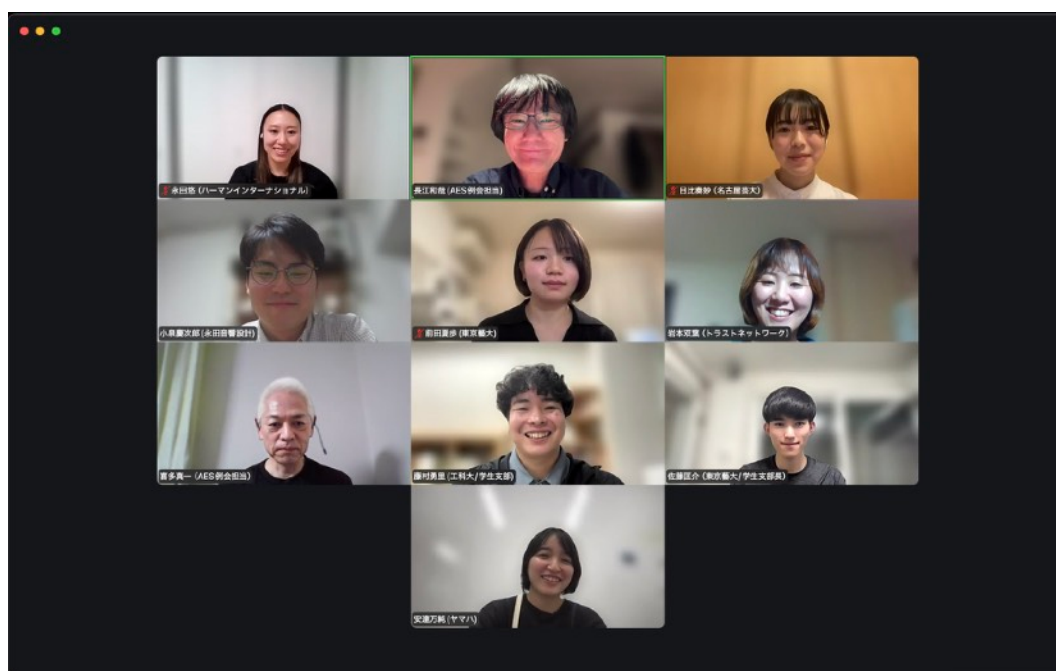
〔写真〕 OTOTEN2025の様子

《AES日本支部・AES日本学生支部 共同例会》

日本支部の例会委員の皆様にご協力いただき、前年に続き、オンラインにてオーディオプロフェッショナルの皆様との交流を行いました。

AES日本学生支部での活動経験があり、現在音響の業界で活躍されている若手ゲストの方々にご登壇いただき、音に関する4分野のお仕事について、それぞれのご経験を踏まえたお話を伺うことができました。また、学生時代の活動や就職活動についてもお聞きすることができ、業界で働くことの実際を知るまたとない機会となりました。

登壇いただいた、ヤマハ株式会社の安達様、株式会社トラストネットワークの岩本様、株式会社永田音響設計の小泉様、ハーマンインターナショナル株式会社の永田様に深く御礼申し上げます。また、日本支部の例会委員の皆様、参加者の皆様にも心より感謝申し上げます。



〔写真〕 例会の様子

《若手・学生のためのAESジャパンフォーラム》

本フォーラムは、学生による研究発表および成果発表の場として、名古屋芸術大学にて開催いたしました。東京藝術大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、東京工科大学、九州大学より、合計13件の発表申込をいただきました。

発表内容は、録音・ミキシング技法から信号処理やシステム開発に至るまで多岐にわたりました。なかでも録音制作に関する発表では、立体音響技術を扱ったものが多く見られたのが印象的でした。特別企画として、名古屋芸術大学の自主レーベル「NUA Records」の音源や本年度のトーンマイスターワークショップの音源、マリンバ四重奏の

音源を7.1.4chにてご試聴いただきました。また、2025年のフォーラムでは6年ぶりに企業枠が復活し、ヤマハ株式会社様にご協賛を賜りました。フォーラム後半の業界セミナーでは、ヤマハ様の研究開発事例や電子楽器の開発事例についてご紹介いただきました。

当日は学生を中心に45名の皆様にご参加いただきました。ご協賛を賜りましたヤマハ株式会社様、会場運営にご協力いただきました名古屋芸術大学の皆様をはじめ、ご参加くださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。



〔写真〕 AESジャパンフォーラム



〔写真〕 AESジャパンフォーラム

《まとめ》

昨年度は、前年の活動を引き継ぎ、継続的に取り組みを積み重ねられたことが大きな意義であったと感じております。OTOTEN2025への出展、日本支部との共同例会といった前年度からの活動に加え、AESジャパンフォーラム2025では6年ぶりに企業枠が復活するなど、新たな展開もございました。こうした活動の継続は、日本支部の皆様より多大なるご支援を賜ったからこそ実現できたものであり、深く感謝申し上げます。

一方で、昨年度に引き続き、学生参加者のAES会員加入や運営メンバーの拡充といった課題も残されております。次年度以降は、AESの魅力をより多くの学生に伝え、会員加入や運営への参加へと繋げられるよう、一層努めてまいります。

今後もAES日本学生支部として、これまで築かれてきた活動を大切に引き継ぎながら、学生同士の交流を深めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

AES日本支部・日本学生支部便り 2026年夏号をお読みいただき、ありがとうございます。AES日本支部が主催するイベントの最新情報は、会員の皆さまへ最速でお届けするためにメールでのご案内をはじめ、AES Connectからも発信しております。Connectには予告だけでなく実施後の報告も掲載されますので、AES本部のウェブサイトにサインインのうえ「Japan Section」のグループへ参加していただきますようお願い申し上げます。AES日本支部公式ウェブサイト、各種SNSからも引き続き情報を発信いたします。あわせてフォローいただけますと幸いです。

本年度も対面でのイベントが盛りだくさんです。皆さまにお目にかかれることを楽しみにしております。

Audio Engineering Society: <https://aes.org/>

AES Connect: <https://connect.aes.org/>

AES日本支部HP: <https://aes-japan.org/wordpress/>

Facebook: <https://www.facebook.com/AESJapan>

X: <https://twitter.com/aesjapan>

Instagram: <https://www.instagram.com/aesjapan/>

AES日本支部 広報担当